

R.CAFÉ

代表 大谷 笑子

食品ロスを減らしながら、料理を提供！ブレンドコーヒーやお菓子も人気！
～自宅を改装しカフェを開業！計画的に進めよう、準備は念入りに!!～



★創業者概要

業種：飲食業
住所：富山県小矢部市中央町7-24
雇用者数：2人
創業：令和元年10月
電話番号：0766-67-1185
Instagram：（QRコード）



★事業概要

当店では思い描くコーヒーの味をコーヒー豆の焙煎業者に直接伝え、独自のブレンドコーヒーを提供しています。

近隣の企業にお勤めの方やご近所の皆さんに手作りの家庭的な昼食やお菓子等を提供しており、ランチメニューを一日一種類とすることで食品ロスを減らす工夫もしています。

まちなかにある店舗ですが、テイクアウトのお客様も増え、多くの方にご注文いただいています。



自家製ベリーソースがのった人気のアップルパイ（左）と、こちらも大人気の油淋鶏（右）

★事業の強み・ポイント

ランチメニューが一日一種類であるため、食品ロスが少なく、ほとんどの料理をイチから手作りしているため、小さなお子様やご年配の方まで、体に優しい料理を提供できます。

また、市が実施するプレミアム付き商品券、飲食券、まちなか周遊クーポンなどの事業と連携し、地元のお客様を多く取り込めています。

創業年表

創業年表	出来事
1987年～	富山県に嫁ぎ、パート等をして働く
2007年～	介護職に就く
2018年～	介護職を退職し、飲食店でパートとして働く。義父母が経営していた旧店舗（洋服の仕立業）のスペースを何かに活用したいと考える
2019年5月～	5月に石動信用金庫に創業相談。知人の飲食店で研修を受けるため、東京に向かう。店舗（洋服の仕立業）の解体が始まる
2019年7月～	小矢部市まちなか等振興事業補助金を活用し7月に店舗が完成。10月にR.CAFEがOPEN

創業しようと思ったきっかけ

義父母が経営していた洋服の仕立業の旧店舗スペースを何かに活用したいと考えたのが創業のきっかけでした。また、事業に飲食業を選んだのは、元々料理好きで、いろいろな料理を多くの方に食べてもらいたいと思ったからです。

また、R.CAFEの「R」は「リラックス・リフレッシュ・リレイション（つながり）」から来ています。お客様にそれらを感じていただけるお店になるよう心がけ、遠くから来られる方々、地元の皆さんの憩いの場になればと思っています。

挑戦・学び

創業しようと思った後、研修として東京の知人の飲食店へ向かい、調理に関する知識や飲食店開店に必要な知識などを蓄えてきました。また、人づてに様々な情報を収集し、補助事業や活用できる支援策を学ぶことができました。

創業支援を受けた感想

飲食業をしている友人に、「自宅改装をしてカフェにしたい」という思いを相談したところ、小矢部市に「まちなか等振興事業補助金」があることを知りました。市役所の商工観光課に相談したところ、「補助対象である」との回答をいただくことができ、その後、石動信用金庫にも支援のお願いをしたことで、創業が実現しました。

全く素人の自分が開業できたのは創業支援のおかげであると大変感謝しています。

課題・今後の展開

Instagramしか情報を発信できる場がないため、インスタをやっていない人にも情報が届くようどのように工夫するかが今後の課題です。メニューとしては、コーヒーに合った甘味のお菓子の種類を増やせたらと考えています。

この支援策を活用しました！

創業相談（実施：石動信用金庫）

各連携機関を訪れた創業希望者に対し、各機関がそれぞれの強みを生かしたアドバイスを行い、創業を支援します。

支援者の声

今回、カフェ開業融資の申込みを受け、開業に向けての親子の熱意に共感し融資支援いたしました。大谷さんの人柄から幅広い年齢層のお客様が来店し、静かだった通りに笑い声が聞こえてきます。開業後、コロナ禍で厳しい社会状況の中ですが、現在もテイクアウトを継続しています。小矢部市の大事な「憩いの場」を笑顔いっぱいのカフェになるよう、これからも当庫は支援していきたいと思えます。



石動信用金庫
坪谷 泉

小矢部市まちなか等振興事業補助金（実施：小矢部市）

市街地の賑わい創出に向け、空き店舗等への出店や既存店舗のリニューアルを行った事業者に対して経費の一部を助成します。

（対象経費の1/2 ※上限：新規出店200万円、リニューアル100万円）

支援者の声

大谷さんは自宅の旧店舗スペースを改装してカフェにしたいという明確な思いを持ち、とても熱心に市役所に相談に来られました。市では商工観光課が担当窓口となり、空き店舗を利用した新規出店に係る補助金の説明をさせていただきました。市役所内でもR.CAFEの利用者は多く、大谷さんのような創業者のおかげで、小矢部のまちなかに魅力と活気が生まれたことをとても嬉しく思います。



小矢部市 商工観光課
沼田 彰男